

岩手県金融経済概況（2021 年 12 月）

1. 概況

県内経済は、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、持ち直している。住宅投資は、持ち直している。この間、生産は、持ち直しの動きがみられる。雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大とその影響を巡る不確実性が高い状況にある。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、持ち直している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2021 年 11 月）は、6 カ月振りに前年を上回った（前年比+2.4%）。

スーパー売上高（全店舗ベース：2021 年 11 月）は、前年と同水準となった（前年比+0.0%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2021 年 12 月）は、引き続き前年を下回った（前年比△10.9%）。ただし、前年割れ幅は縮小している。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心を持ち直している。ただし、関連する事業者からは、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大の影響を懸念する声が聞かれている。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2021 年 12 月）は、引き続き前年を下回った（前年比△42.3%）。

新設住宅着工戸数（2021 年 11 月）は、8 カ月振りに前年を下回った（前年比△5.1%）。

—— 持家（前年比+0.7%）と分譲（同+30.4%）は前年を上回ったが、貸家が前年を下回った（同△24.7%）。

民間設備投資（2021年12月短観ベース：2021年度計画）は、前年度を上回る計画となっている（前年比+23.0%）。

—— 製造業では、前年度からの先送り案件や半導体関連の能力増強投資等から前年比大幅に増加する計画（前年比+32.1%）となっている。非製造業でも前年を上回る計画（同+11.7%）となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2021年11月）は、引き続き前年を下回った（前年比△25.7%）。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（季節調整値：2021年11月）は、3カ月振りに前月を上回った（前月比+1.1%）。

—— 主な業種の指数の動きをみると、生産用機械、輸送機械が上昇した一方、食料品、電子部品・デバイスは低下した。

四半期の動きをみると、2021/7～9月は2期振りに前期を上回った（2021/1～3月：前期比+15.6%、4～6月：同△0.6%、7～9月：同+7.9%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。

有効求人倍率（季節調整値：2021年11月）は、1.22倍と4カ月連続で前月を下回った（2021年10月：1.23倍）。

雇用者所得（県内合計値：2021年11月）は、名目賃金指数（前年比+0.7%）は前年を上回ったものの、常用雇用指数（同△1.0%）が前年を下回ったことから、5カ月振りに前年を下回った（同△0.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2021年12月）は、引き続き前年を上回った（前年比+0.6%）。

内訳をみると、光熱・水道、教養娯楽などが上昇し、交通・通信が下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2021年12月）は、7件、13,394百万円となった（前年同月：5件、2,015百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2021年11月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2021年11月）は前月と同水準となつた。

以上

本件に関する問い合わせ先：

<ホームページ>

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

